

# 令和元年度 学校自己評価

中津市立如水小学校

## 1 学校の教育目標

豊かな心と基礎基本を身につけ、多様性を尊重し、自ら学び切り拓く子どもの育成

### 評価判断基準

- A …達成率90～100%
- B …達成率70～ 89%
- C …達成率60～ 69%
- D …達成率60%未満

## 2 重点目標・達成指標、重点的取組等

目指す 資質・ 能力	重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	評価	成果と課題、及び次学期（次年度）に向けての取組	
根拠を持って自分の考えを表現できる力の育成	主体的に考える授業	○授業で自分の考えが言えると答える児童の割合を5パーセント増やす 【5月40%】 【指標45%】	学校	○思考力・判断力・表現力の向上 ○知識・技能の定着	○授業者が、算数で毎時間、子どもとキーワードを使い、授業のまとめをつくる。 ○授業者が、毎日宿題に確実に取り組ませる。忘れてもその日のうちにさせる。	A	○授業者が、算数で毎時間、子どもとキーワードを使い、授業のまとめをつくる。 ○授業者が、毎日宿題に確実に取り組ませる。忘れてもその日のうちにさせる。
		○算数で、A層に属する児童の割合を10%以上増加、C層に属する児童の割合を10%以上削減する 【1学期の単元テストで70点未満の児童を学級の2割以下にする。】	家庭	家庭での学習習慣の定着	子どもが毎日宿題をしているか声かけしてもらい、状況を把握してもらう。	B	○家庭学習は、児童アンケートで91%達成できた。単元テストで、A,B,C層および各学年の現状が把握できた。
			地域	学習支援の充実	地域の方に、水曜放課後学習教室、土曜教室、学習支援活動に実施・支援してもらう。	B	○3年生のC層は減少した。4年生のC層の割合は以前として高いので、学年部への支援体制を整え達成指標に近づけるようにしていく。 ○今後、表現するための材料収集をする力が必要となる。そのためにも「視点をもって考えながら人の話を聞く力」「視点をもって考えながら文章を読む力」に着目した教育活動を進めることで、さらに子どもの表現力の育成につながる。
	心豊かな学校	○友だちにありがとうの気持ちをいつも伝えられていると答える児童の割合を5%以上増やす 【5月69%】 【指標74%】	学校	○「ありがとう運動」の実施 ○チャイム着席の実施 ○自問清掃の充実	○プリント、ノート等を配る時に、「どうぞ」「ありがとう」を子どもに徹底させる。 ○毎日、授業始まりのチャイムが鳴り終わる前に、教室で席に着く指導を進める。 ○教職員が、自問清掃の始まる前に、掃除場所に行き立つ。	A	○「ありがとう運動」は、学級の中で着実に定着している。今後他の学年からよい面を伝える活動を行い、学年を超えた「ありがとう運動」に広げる。
		○いつも時間を守って行動していると答える児童の割合を5%以上増やす 【5月81%】 【指標86%】	家庭	家庭・地域でのあいさつ運動の推進	子どもに家庭で1日1回「ありがとう」を言ってもらう。（生活指導新聞で家庭によびかける。）	A	○落ち着いた授業のスタートができています。今後、高学年をモデルとして全校でチャイム着席ができるようにしていく。
		○自問清掃によく取り組んでいると答える児童の割合を5%以上増やす。 【5月66%】 【指標71%】	地域	家庭・地域でのあいさつ運動の推進	地域から進んであいさつをしてもらう。	B	○繰り返し自問清掃の集会を行い、意識の継続ができています。また、良い掃除を見せ合い、自問ノートを掲示することで友だちの良さに気づくことができています。
	体力向上に挑戦	○記録が伸びた、体力がついたと答える児童の割合を95%以上にする。 【5月88%】 【指標95%】	学校	○記録が伸びた、体力がついたと答える児童の割合を95%以上にする。	○体育の毎時間、如水サーキット（始まりの10分）に取り組む。 ○担任が、学級のレーダーチャートを子どもに確認させ、学級ルールや遊びについて確認する。	B	○如水サーキットに加え、持久走で宣言タイムを設定し、目標を達成することで挑戦する意欲が高まった。 今後の如水サーキットにも柔軟性を高める運動を加えていく。
			家庭	基本的な生活習慣の確立	生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯・歯磨き）の徹底をしてもらう。	A	○レーダーチャートで学級の課題をわかりやすくして、学級遊びを意識して取り組めるようにした。今後も担任は、給食の時間以外で遊ぶように声かけをする。さらに他の教職員も校内で遊んでいる子を見かけたら外で遊ぶように促す。
			地域	学校行事への参観・協力	地域の方が、運動会、持久走大会等体育的行事に参加してもらう	A	